

DEMECAL®

商品説明資料

商品ラインナップ（生化学検査）

メタボリックシンドローム & 生活習慣病セルフチェック

メタボリックシンドローム判定を含む
生活習慣病全般14項目検査

● 脂質代謝 ● 肝機能 ● 腎機能 ● 糖代謝 ● その他
 ・中総胆酸 ・AST(GOT) ・クレアチニン ・尿酸値 ・尿蛋白
 ・HDL-C/ LDL-C比 ・ALT(GPT) ・尿酸異常 ・HbA1c ・糖タンパク
 ・HDL-C/ LDL-C比 ・r-GT(r-GTP) ・尿酸異常 ・アルブミン
 ・尿酸値

DEMECAL
血液検査セット

裏面の窓あき部分に記載されている使用期限をご確認ください。

生活習慣病+糖尿病セルフチェック

糖尿病のチェックを含む
生活習慣病全般13項目検査

検査項目
 ・中性脂肪 ・AST(GOT) ・血糖値 ・クレアチニン
 ・HDL-C/ LDL-C比 ・ALT(GPT) ・HbA1c ・尿糖異常
 ・糖化ヘモグロビン ・r-GT(r-GTP) ・糖タンパク
 ・アルブミン ・尿酸値

DEMECAL
血液検査セット

裏面の窓あき部分に記載されている使用期限をご確認ください。

メタボリックシンドローム & 生活習慣病セルフチェック

生活習慣病+糖尿病セルフチェック

質問票が同梱されています

検査申し込み用紙の記入方法

メールで検査結果を見る時などに問い合わせ番号が必要となります。

初めの方は記入不要です
2回目以降は、前回の結果シートに記載されているIDをご記入いただくと時系列に検査結果を見ることができます。
※IDの記入がなくても検査はできます。



メールアドレスを記入いただくと検査完了後、速報として検査完了メールが届き検査結果を見ることができます。

検査申し込み用紙(返送用)

※ 郵送(郵便物)をご手取りの上、ご記入ください。
※ 必ずお名前と住所を明記してください。必ずお名前と住所を明記してください。

検査者ID: 201201010000123

検査センター: デメカルサポートセンター 0120-100-302 (9:30~17:30 平日のみ)

① 検査ID: 健康太郎

② 氏名: 健康太郎

③ 性別: 男

④ 生年月日: 昭和40年11月14日

⑤ 住所: 〒110-0302 東京都中央区日本橋 デメカルビル3F

⑥ 電話番号: 03-1234-5678

⑦ メールアドレス: sample@leisure.co.jp

⑧ 検査日: 2月1日

質問票

この質問票は、あなたの生活習慣を把握し、今後の健康管理に役立つコメントを作成するためのシートです。
※必ず本人が記入し、検査申し込み用紙(返送用)と一緒に返送ください。

氏名: _____ 性別: _____ 年齢: _____

身長: _____ cm 体重: _____ kg

最大血圧: _____ mmHg 最小血圧: _____ mmHg

下記の質問に該当する場合は、その質問欄に必ず「はい」で記入してください。

質問	はい	いいえ
Q1 飲酒、タバコを日常的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q2 不規則な生活リズムで、夜更かしや朝寝坊が多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q3 20kg以上体重が増え、BMIが25以上ある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q4 1日2杯以上お酒を飲む(ビールは1杯以上)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q5 毎朝起床時の血圧が160/90以上ある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q6 精神が不安定で、よく泣いたりイライラしたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q7 食事の量が減り、体重が5kg以上減ったことがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q8 最近、めまいや立ちくらみ、ふらつきを感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q9 家族や友人に糖尿病の人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q10 家族や友人に高血圧の人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q11 家族や友人に脂質異常症の人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q12 家族や友人に腎臓病の人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q13 家族や友人に肝臓病の人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q14 家族や友人にがんの人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q15 家族や友人に糖尿病、高血圧、脂質異常症、腎臓病、肝臓病、がんのいずれかがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q16 家族や友人に糖尿病、高血圧、脂質異常症、腎臓病、肝臓病、がんのいずれかがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問票(生活習慣病)

この質問票はあなたの生活習慣をチェックし、今後の健康管理に役立つコメントを作成するためのシートです。
※必ず本人が記入し、検査申し込み用紙(返送用)と一緒に返送ください。

氏名: _____ 身長: _____ cm 体重: _____ kg

最大血圧: _____ mmHg 最小血圧: _____ mmHg

下記の質問に該当する場合は、その質問欄に必ず「はい」で記入してください。
(必ず「はい」で記入してください)

Q1 アルコールを飲む習慣がある	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ							
Q2 脂質の食事が多い	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ							
Q3 タバコを吸う	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ							
Q4 運動をする習慣がない	<input type="checkbox"/>	習慣がない	<input type="checkbox"/>	習慣がある							
Q5 現在、治療中の病気がある	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ							
Q6 家族歴	<input type="checkbox"/>	糖尿病	<input type="checkbox"/>	高血圧	<input type="checkbox"/>	脂質異常	<input type="checkbox"/>	腎臓病	<input type="checkbox"/>		
Q7 肝機能	<input type="checkbox"/>	異常なし	<input type="checkbox"/>	生活習慣	<input type="checkbox"/>	脂肪肝	<input type="checkbox"/>	再検査	<input type="checkbox"/>	検査済	<input type="checkbox"/>
Q8 脂質代謝	<input type="checkbox"/>	異常なし	<input type="checkbox"/>	生活習慣	<input type="checkbox"/>	脂肪肝	<input type="checkbox"/>	再検査	<input type="checkbox"/>	検査済	<input type="checkbox"/>
Q9 尿酸	<input type="checkbox"/>	異常なし	<input type="checkbox"/>	生活習慣	<input type="checkbox"/>	脂肪肝	<input type="checkbox"/>	再検査	<input type="checkbox"/>	検査済	<input type="checkbox"/>
Q10 腎機能	<input type="checkbox"/>	異常なし	<input type="checkbox"/>	生活習慣	<input type="checkbox"/>	脂肪肝	<input type="checkbox"/>	再検査	<input type="checkbox"/>	検査済	<input type="checkbox"/>
Q11 糖代謝	<input type="checkbox"/>	異常なし	<input type="checkbox"/>	生活習慣	<input type="checkbox"/>	脂肪肝	<input type="checkbox"/>	再検査	<input type="checkbox"/>	検査済	<input type="checkbox"/>

メタボリックシンドローム & 生活習慣病セルフチェック

生活習慣病+糖尿病セルフチェック

商品説明

メタボリックシンドローム&生活習慣病セルフチェック

【検査項目】

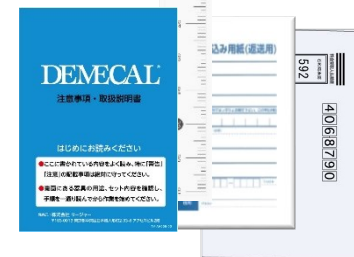
- 栄養状態: 総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)
- 肝機能: AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)
- 脂質代謝: 総コレステロール(TC)、HDL-コレステロール(HDL-C)、
中性脂肪(TG)、LDL-コレステロール(LDL-C)
- 腎機能: 尿素窒素(BUN)、クレアチニン(CRE)
- 痛風: 尿酸(UA)
- 糖代謝: 血糖(GLU)、ヘモグロビンA1c(HbA1c)

内臓脂肪型肥満によって、様々な病気が引き起こされやすくなった状態を「メタボリックシンドローム」といいます。

そのメタボリックシンドロームのチェックに加えて、生活習慣病もチェックできる商品です。

腹囲測定用メジャーも付いています。

定期的かつ継続した血液チェックをお勧めします。



【質問票】



【結果報告書】

【アドバイスシート】

生活習慣病＋糖尿病セルフチェック

【検査項目】

- 栄養状態： 総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)
- 肝機能： AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)
- 脂質代謝： 総コレステロール(TC)、HDL-コレステロール(HDL-C)、
中性脂肪(TG)
- 腎機能： 尿素窒素(BUN)、クレアチニン(CRE)
- 痛風： 尿酸(UA)
- 糖代謝： 血糖(GLU)、ヘモグロビンA1c(HbA1c)

生活習慣病の中でも特に糖尿病に焦点を当て、ヘモグロビンA1cを追加した商品です。

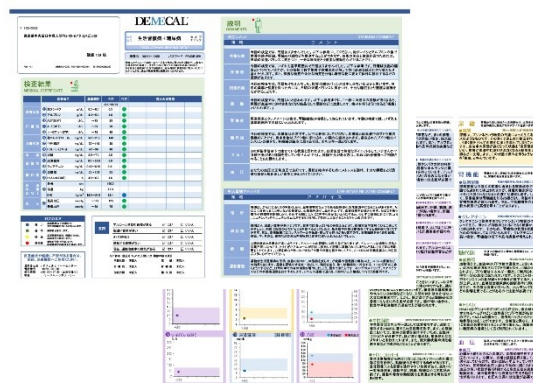
ヘモグロビンA1cは約1～2ヶ月間の血糖値を反映するといわれており、糖尿病のよりよい指標とされています。

糖尿病、またその予備軍は年々増加傾向にあります。

定期的かつ継続した血液チェックをお勧めします。



【結果報告書】



【質問票】

質問票 (生活習慣病)

この質問票は自分の現在の生活習慣を詳しく、今後の健康状態に役立つコメントを提出するのシートです。
※必ず本人が記入し、検査申し込み用紙(返送用)と一緒に返送してください。

氏名 _____

身長 _____ cm 体重 _____ kg

最大血圧 _____ mmHg 最小血圧 _____ mmHg

※年齢を記入してください。

下記の質問項目に該当する項目に○を記入してください。(必ずボールペンで記入ください)

01 アルコールを飲む習慣がある はい いいえ

02 脂っこい食事が多い はい いいえ

03 タバコを吸う はい いいえ

04 運動をする習慣がない はい いいえ

05 慢性・急性腰痛中の病状がある はい いいえ

記入、入場カードの欄を記入の際は、検査する項目に○を記入してください。
(必ずボールペンで記入ください)

06 栄養状態 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

07 肝機能 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

08 脂質代謝 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

09 尿酸 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

10 腎機能 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

11 糖代謝 良好 不足 過剰 不明 不明 不明

※入場カード欄を記入していない場合は、検査の要です。

【血糖 (GLU)】

血糖値とは血液中のブドウ糖の濃度のことです。食後に炭水化物が消化されてブドウ糖になり血液中に吸収されます。血糖値は食後にすぐ上昇するため食事の影響のない食前、あるいは食後3時間以上経過後に検査することが望ましいです。空腹時の血糖値が高い場合は糖尿病の可能性があるため精密検査が必要です。また、極端に血糖値が低い場合はインスリンの過分泌状態も疑われます。糖尿病でなくても、妊娠、ホルモン分泌異常などで高くなる場合があります。

【ヘモグロビンA1c (HbA1c)】

血糖値は、食事の影響を受けやすいですが、HbA1cは採血直前の食事などの影響を受けず、約1～2ヶ月間の血糖値の状態を知ることができます。そのため、糖尿病の検査には欠かせない検査項目の一つです。

【総コレステロール (TC)】

総コレステロールは、血液中の重要な脂質です。主な働きは細胞膜や血管壁を構成します。また、副腎皮質ホルモンや性ホルモンを合成する材料になります。しかし、この値が高くなると動脈硬化が引き起こされる可能性が高くなります。

【中性脂肪 (TG)】

中性脂肪はエネルギー源として体に備蓄されます。肥満とは体に余分な脂肪のついた状態をいいますが、この体につく脂肪の大部分が「中性脂肪」です。内臓に沈着すると臓器障害の原因になります。また、血液中の中性脂肪が増加した状態が続くと、動脈硬化の危険性が高まります。

糖代謝の
検査



脂質代謝の
検査



【HDLコレステロール (HDL-C)】

血液中の余分なコレステロールを肝臓に運ぶ役割をしています。血液中のコレステロールが増えるのを防ぎ、動脈硬化を予防するといわれており、「善玉コレステロール」と呼ばれています。値が低下している場合は、過食・運動不足・肥満などに影響され動脈硬化の原因となります。

【LDLコレステロール (LDL-C)】

LDLコレステロールはコレステロールを細胞に届ける役割があります。食生活などの生活習慣に影響されやすいといわれています。細胞に必要以上にコレステロールが増えてしまうと、血管を硬化させ動脈硬化を促進させ、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性が高まります。そのためLDLは「悪玉コレステロール」と呼ばれています。

【AST (GOT)】

ASTは肝臓・心臓・筋肉の細胞に多く存在するため、主に肝臓や心臓の状態を把握するために測定されます。肝炎や心筋梗塞、赤血球が壊れたとき、激しい運動後などで高くなることが知られています。ASTが単独で高い場合は、肝機能より、心臓、筋肉、血液系に問題がある可能性があります。

【ALT (GPT)】

ALTは主に肝臓に存在する酵素で、肝細胞が壊れると血液中に出て高い値になります。ASTの値と比較して肝臓病・血液疾患・筋疾患などの鑑別が可能となります。

肝機能の
検査



【 γ -GT(γ -GTP)】

γ -GTは主にアルコール性肝機能障害や胆嚢結石などの胆嚢系統の病気や膵臓系統の病気が高くなります。ASTとALTと併せて肝臓機能の状態を把握することができます。一般的に γ -GTはアルコール習慣の指標とされ、禁酒すると2週間後に前回値の1/2程度に改善すると言われています。また、一部の薬剤の服用によっても上昇します。

【尿素窒素(BUN)】

尿素窒素は、血中の尿素に含まれる窒素分を表します。尿素はクレアチニン、尿酸などととも、含窒素物質の終末代謝産物で、腎臓を介して排泄されます。尿素窒素の検査から腎臓の働きやたんぱく代謝の状態を把握することができます。値が高い場合は腎機能障害や脱水などが考えられます。

【クレアチニン(CRE)】

クレアチニンは、筋肉の中に含まれるクレアチンという物質が分解されてできた老廃物です。クレアチニンは腎臓へ運ばれて、腎臓の糸球体という場所でろ過されて、直接尿へ排泄されます。このクレアチニンの排泄量は、筋肉の発育(年齢、体重)と運動量に関係するといわれています。値が高いと腎臓機能の低下・筋肉の病気・脱水などが考えられます。

【尿酸(UA)】

尿酸はプリン体という物質が分解してできた老廃物で、血液中の濃度が高くなると、溶けきれなくなった尿酸が結晶化します。尿酸の結晶が痛風の原因になります。プリン体を多く含む食事やアルコールの飲みすぎなどに注意が必要です。

腎機能の
検査



尿酸の検査



【総タンパク(TP)】

血液中にはいろいろな種類のたんぱく質が含まれており、身体の代謝を助けています。この検査が高くなる場合には、骨髄腫や脱水症状などが考えられます。低くなる場合は、食物から栄養が十分取れていない時、肝臓の病気、糖尿病、腎臓の病気などが考えられます。

【アルブミン(ALB)】

血液中たんぱく質の約65%を占め、栄養分などを全身に運びます。その量や変化の仕方によって病気との関連を調べることができます。アルブミンが増加する病気はあまり知られていませんが、低くなる場合は、栄養不足、消化・吸収の能力の低下、消耗性疾患、肝硬変、ネフローゼなどがあります。アルブミンが少なくなると、栄養が行きわたりにくくなり、疲れやすくなったり、だるくなりやすかったりします。

たんぱく
代謝の検査



がんリスクチェッカー（腫瘍マーカー検査）



（男性向け）



（女性向け）



胃がん



ピロリ菌検査

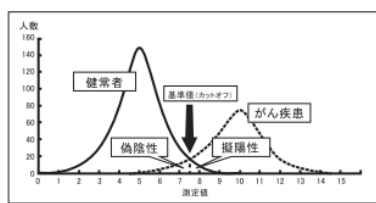
※「胃がんリスク層別化検査」と「ピロリ菌検査」は腫瘍マーカー検査ではありません

腫瘍マーカー検査に関しては、事前に検査の特徴をご説明しています。
腫瘍マーカー検査はがんの診断をするものではありません。がんリスクのひとつの指標としてご利用下さい。

腫瘍マーカー検査を受けられるお客様へ

本検査を受けられる前に不安や心配に思われていることがありましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

- 腫瘍マーカーが基準値以上になると、がんの可能性が高くなると判断されます。ただし、実際には、検査値が基準値以上であっても問題の無い場合や、良性の疾患でも上昇する場合があります。
- 腫瘍マーカーが基準値以内の場合では、がんの可能性が低いと判断されます。ただし、がんの可能性を完全に否定できないこともあります。



人数
測定値

健康者、偽陰性、基準値（カットオフ）、がん疾患、疑陰性

腫瘍マーカー検査とは、がん細胞から出ている物質を測定することで腫瘍の存在や変化を推定しようとする検査です。ただし、同物質は健康者において良性疾患等で高値となることがあり、またがん患者であっても低値の場合があります。そのため健康者でも基準値を超えることがある一方、がん患者でも基準値以下のことがあります（上図）。そのため腫瘍マーカー検査のみをもって、がんの判断をすべきではありません。診断は医療機関を受診し、医師による総合的な判断が必要です。

— 本検査を受けられるにあたり、以下の点についてご承知おきください。 —

- 1) 個人によっては、がんが存在しないにもかかわらず腫瘍マーカー値が上昇する場合や、がんが存在するにもかかわらず腫瘍マーカー値が上昇しない場合があります。
- 2) 指先採血では、血液以外の体液（汗、組織液等）及び手指の汚れなどの異物混入が検査に影響を及ぼし検査値が上昇する場合があります。

デメカルサポートセンター ☎ 0120-100-302

商品説明

がんリスクチェッカー 男性向け

【検査項目】 p53抗体、PSA(前立腺がん)

“がんリスクチェッカー 男性向け“は、「p53抗体」と、「PSA」を組み合わせ
て検査します。

「p53抗体」検査は、2007年11月に厚生労働省において大腸がん、食
道がん、乳がんの診断に保険適用が認められた腫瘍マーカーです。

また、「PSA」は、近年急上昇している男性特有の前立腺がんのチェッ
クに有効です。

p53抗体では臓器特異性が低いこともあり、陽性時は全身のスクリー
ニングが必要です。

年齢・性別からある程度高発部位を推定して精密検査を行う必要があ
るため、結果が陽性の場合は医療機関での総合的な検査を受診され
ることをお勧めいたします。

血液検査だけではがんの発見・診断・部位の特定はできませんが、
がんリスクのひとつの指標としては有効ですので、定期的ながん検診を
受診するキッカケとしてください。

※腫瘍マーカーが基準値以内の場合では、がんの可能性が低いと判
断されます。ただし、がんの可能性を完全に否定できないこともあります。



【結果報告書(両面刷り)】

DEMECAL
がんリスクチェッカー 男性向け
検査結果

健康 164 種

あなたの検査結果

検査項目	測定値	基準値
p53抗体	0.1	~1.2
PSA	0.5	~4.0

知っておこう がんと腫瘍マーカーについて

検査結果について

この検査キットの特徴

検査項目の解説

ヘルプセンター 0120-100-302

商品説明

がんリスクチェッカー(女性向け)

【検査項目】 p53抗体、CA15-3(乳がん)

“がんリスクチェッカー 女性向け”は、「p53抗体」と、「CA15-3」を組み合わせ検査します。

「p53抗体」検査は、2007年11月に厚生労働省において大腸がん、食道がん、乳がんの診断に保険適用が認められた腫瘍マーカーです。

「CA15-3」は乳がんの特異性の高い腫瘍マーカーとして利用されています。初期の乳がんではほとんど陽性を示しませんが、ステージが進んでいる場合、転移性乳がんの場合に陽性率が高くなります。再発や内部転移にも反応するため、手術後の経過観察に有用です。

また、p53抗体と組み合わせることで精度が向上するとされています。

p53抗体では臓器特異性が低いこともあり、陽性時は全身のスクリーニングが必要です。

年齢・性別からある程度高発部位を推定して精密検査を行う必要があるため、結果が陽性の場合は医療機関での総合的な検査を受診されることをお勧めいたします。

血液検査だけではがんの発見・診断・部位の特定はできませんが、がんリスクのひとつの指標としては有効ですので、定期的ながん検診を受診するキッカケとしてください。

※腫瘍マーカーが基準値以内の場合では、がんの可能性が低いと判断されます。ただし、がんの可能性を完全に否定できないこともあります。



DEMECAL



【結果報告書(両面刷り)】

DEMECAL

検査結果

がんリスクチェッカー 女性向け

あなたの検査結果

検査日: 2018/02/26

検査項目	測定値	基準値
p53抗体	0.0	~1.2
CA15-3	11.3	~25.0

検査結果について

がんリスクチェッカー(両面刷り)

検査項目の解説

この検査キットの特徴

知っておこう がんと腫瘍マーカーについて

問い合わせセンター 0120-100-302

商品説明

胃がんリスク層別化検査

【検査項目】 ペプシノゲン I・II
ピロリ菌抗体

ペプシノゲン検査とピロリ菌抗体検査の両方が一度にでき、検査結果より胃がんになりやすい状態を判定するABC分類の判定をお知らせします。

<胃がん発生リスク分類> 参考

	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌抗体	-	+	+	-
ペプシノゲン	-	-	+	+
胃がん発生の危険度	低 —————▶ 高			

※A群：胃がんのリスクはほとんど見られない状況です
 ※B群～D群：内視鏡検査等の適切な精密検査と治療を行うことが推奨されています。
 ※ピロリ菌除菌治療を過去に受けたことがある方は、ABC分類上「E群」に分類されます。除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、ゼロになるわけではありませんので、除菌後も経過観察が必要です。



【質問票】

質問票 胃がんリスク(ABC分類)

患者さんご自身、検査申し込み用紙(通常用)と一緒にご記入ください。

姓 氏 名
 〒 住 居
 下記の質問(1)～(5)に「はい/いいえ」を記入し、必要に応じて理由を記入してください。

Q1. 近親者(ご両親、ご兄弟、ご姉妹、ご祖母、ご祖父、ご伯父、ご叔母)に胃がんや胃癌の患者さんがいますか？
 はい いいえ

Q2. 胃がん、十二指腸がんの家族性発症症候群(遺伝性)に罹りませんか？
 はい いいえ

Q3. 過去に、十二指腸の潰瘍(潰瘍性大腸炎)に罹りませんか？
 はい いいえ

Q4. 過去に胃がんや胃癌の治療を受けていますか？
 はい いいえ

Q5. 過去に慢性胃炎、胃下垂、胃下垂症、胃酸過多症、胃酸不足症に罹りませんか？
 はい いいえ

Q6. 過去に慢性幽門螺旋菌(ピロリ菌)に罹りませんか？
 はい いいえ



【結果報告書(両面刷り)】

胃がんリスク層別化検査の結果報告書。患者さんの個人情報、検査結果、検査結果の解釈、および検査後の経過観察の案内が記載されている。検査結果は、A群、B群、C群、D群に分類され、リスクの高低が示されている。

検査結果

検査項目	結果
ピロリ菌抗体	陰性
ペプシノゲン I	5.7
ペプシノゲン II	3.1
ペプシノゲン III	5.8

あなたの検査結果

検査日: 2015/04/05

検査結果: A群

A B C 分類判定結果

検査結果から、A群と判定されました。

【ABC分類】
 A群: 最もリスクが低い状態です。B群、C群、D群に比べて、胃がんの発症リスクが非常に低いです。

商品説明

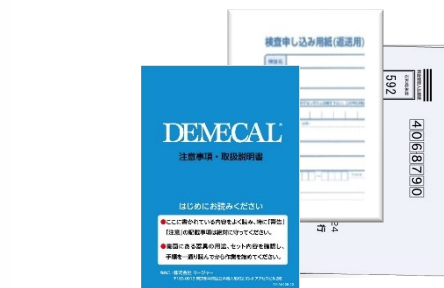
ピロリ菌検査(胃がんリスクチェック)

【検査項目】 ピロリ菌抗体検査

胃炎や胃潰瘍の原因と言われているピロリ菌の感染をスクリーニング(ふり分け)する検査です。日本で胃がんの死亡率が高いのはピロリ菌によるものとも言われています。

胃がんは、早期発見できれば5年生存率が90%と高く、早期発見・早期治療が重要だと言われています。

胃の調子が気になる、検査をしたいけど時間がない、バリウムは苦手。胃カメラはちょっとこわくて・・・そんな方に自宅でできる胃がんリスクチェックをお勧めします。



【結果報告書】

検査項目	測定値	基準値
ピロリ菌抗体	0.0	~9.9

●●●● 検査結果について ●●●●
基準値以内、ピロリ菌感染が「陰性」です。

知っておこうピロリ菌について

【ピロリ菌感染の検査方法】
ピロリ菌は胃酸によって胃酸に耐える細菌(以下ピロリ菌)で、消化性潰瘍や慢性胃炎や胃癌の原因の一つとして知られています。検査方法は血液検査や胃液検査などがあります。その中でも血液検査は最も簡単で、痛みもありません。検査結果は検査結果報告書で知られます。検査結果が陽性(+)の場合は、医師の指導のもとで適切な治療を受ける必要があります。検査結果が陰性(-)の場合は、ピロリ菌感染が疑われないと判断されます。

【検査結果の読み方】
検査結果は、0.0~9.9の範囲で表示されます。0.0~9.9の範囲で表示された場合は、ピロリ菌感染が疑われる可能性があります。10.0以上の場合は、ピロリ菌感染が確定したと判断されます。

【検査結果が陽性(+)の場合】
検査結果が陽性(+)の場合は、ピロリ菌感染が疑われる可能性があります。医師の指導のもとで適切な治療を受ける必要があります。検査結果が陽性(+)の場合は、医師の指導のもとで適切な治療を受ける必要があります。

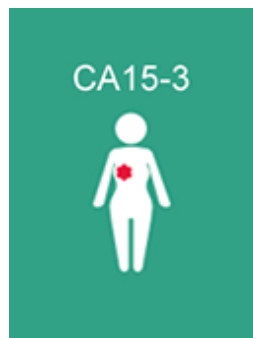
【検査結果が陰性(-)の場合】
検査結果が陰性(-)の場合は、ピロリ菌感染が疑われないと判断されます。ただし、検査結果が陰性(-)の場合でも、医師の指導のもとで適切な治療を受ける必要があります。

【検査結果が不明(±)の場合】
検査結果が不明(±)の場合は、検査結果が不明です。医師の指導のもとで適切な治療を受ける必要があります。

【CA15-3】

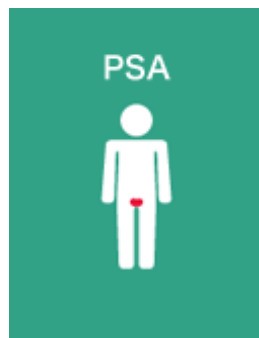
CA15-3は、乳がんの特異性の高い腫瘍マーカーです。ステージが進むほど異常値を示す割合が高くなります。また、p53抗体と組み合わせると精度が向上すると言われています。

乳がんの他に、卵巣がん、子宮がん、膵がん、肺がん、胃がん、大腸がんが陽性となる場合があります。また、肝硬変や妊娠などでも上昇する場合があります。



【PSA】

PSAは、前立腺上皮および尿道周囲腺で産生される糖タンパクで、前立腺特異抗原と言われています。名前から推測できるように、PSAは前立腺に特異的で前立腺がんになると血中に増加してきます。そのため、PSAは、前立腺がんの診断や経過観察には非常に有効なマーカーと言われています。その他、良性疾患ではありますが、前立腺肥大症や、前立腺炎などでも値が高くなることが知られています。なお、近年、わが国における前立腺がん患者の増加率は著しく、増加率は全悪性腫瘍の中で1位になると予想されています。



【p53抗体】

癌抑制遺伝子であるp53遺伝子に異常が起こると、変異したp53蛋白が生じます。p53抗体はこの変異した蛋白に対する抗体です。遺伝子変異での抗体であるため、比較的早期のがんの段階から血液中に出現することになります。p53抗体は、食道がん、大腸がん、乳がん、で陽性率が高いため、2007年11月から一般医療機関でのがんの診療において保険適応が認められています。

【ピロリ菌抗体検査】

ピロリ菌は胃の粘膜表面に棲みつく細菌です。多くは子供のころに感染し、除菌しない限り胃の中に棲み続け炎症を起こします。この炎症が続くことで慢性胃炎、さらには萎縮性胃炎と進みます。萎縮が進行すると、粘膜に異変が起こり胃がんを引き起こしやすい状態になります。ピロリ菌陰性者(菌を持たない人)を10年間観察したところ胃がん発症0%だったのに対し、陽性者(菌を持っている人)は同期間にて胃がん発症2.9%だったという報告があります(Uemura N. et al.: N Engl J Med. 2001; 345(11): 784-9)。

ピロリ菌に感染するとピロリ菌に対する抗体が産生されて血中に出てきます。この数値を測定することでピロリ菌に感染しているかどうかを調べることができます。



【ペプシノゲン I / II】

胃粘膜の萎縮(萎縮性病変)が進むと胃癌になりやすいことが知られています。このペプシノゲン検査法は血液中のペプシノゲンの量を測り、胃の粘膜の萎縮の程度を判定します。ペプシノゲンにはペプシノゲン I (PG I) とペプシノゲン II (PG II) の2種類あり、胃の萎縮状態が進むにつれて血液中のペプシノゲン量は低下していきます。

胃の萎縮度は、PG I の測定結果と PG I / PG II の比率の組合せで判定します。PG I の測定結果が単独で低い場合より、PG I も低くかつ PG I / PG II の比も低いという場合のほうが、萎縮度が進んでいる(強度の陽性)といえます。PG II は PG I との比率を出すために測定しますので、単独での測定結果は、さほど重要ではありません。



商品ラインナップ（感染症検査）



HIV



B型肝炎+C型肝炎



B型肝炎+C型肝炎+HIV

事前案内文が同梱されている商品もあります。

検査申し込み用紙の記入方法

メールで検査結果を見る時などに
問い合わせ番号が必要となります。

初めての方は記入不要です

検査結果シートが不要な場合
希望しないにチェックを入れると
メールの報告のみになります。

メールアドレスを記入いただくと
検査完了後、速報として検査完了メールが
届き検査結果を見ることができます。

検査申し込み用紙(返送用)

※ 検体（採血検体）をご受取の上、ご記入ください。
※ 検査結果が速報となります。必ず検査完了メールをご確認ください。
※ 検査結果が速報となります。必ず検査完了メールをご確認ください。

検索番号: 000017-1355 E24-S1-P1 (0)→3

検査ID: 201201010000123

検査センター: デメカルサポートセンター 0120-100-302 (9:30~17:30 平日のみ)

① 性別: 男 女

② 氏名: けんこう たろう 健康 太郎

③ 性別: 男 1歳

④ 生年月日: 昭和 40 年 11 月 14 日

⑤ 住所: 〒110-0300 東京都中央区日本橋 デメカルビル3F

⑥ 電話番号: 03-1234-5678

⑦ メールアドレス: sample@leisure.co.jp

⑧ 採取日: 2 月 1 日

HIV抗体検査を受けられるお客様へ

まず始めに、本検査を受けられる前に不安や心配に思われていることがありましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。医療機関による事前相談窓口をご案内いたします。

この製品の検査は、後天性免疫不全症候群(AIDS)の原因となるHIV感染に関して調べうるスクリーニング(ふるいわけ)検査で、HIV感染後に体内で作られるHIV抗体を測定します。感染後2~3ヶ月後には、ほとんどの場合で抗体が確認できます。検査をなさる場合は、以下の点にご留意ください。

- HIVに感染して約2ヶ月間は、抗体が確認できないので、感染の心配があったときから2か月後に検査するようにしてください。
- 今回の検査が陰性であって、なお、心配がある方は、さらに2か月後を目処に再検査することをお勧めします。

今回の検査で、陽性の検査結果になっても、実際には感染していない場合があります(注記)ので、陽性の結果が通知された場合は、必ず専門医療機関でHIV確認検査をしていただく必要があります。

また、実際に専門医療機関で感染が確認された場合、現在のところ特効薬はありませんが、いくつかの薬を併用することでAIDS発症を抑制し、長期間にわたり健全な人と変わらない日常生活を送ることができます。ですから、陽性判定が通知されても決して悲観せず、早期に専門医療機関での診察を受けてください。

最後に、ご希望される方には本検査結果の通知書をお客様に届けられます。その検査通知書にも電話相談窓口のご案内があります。電話相談窓口では守秘義務を遵守し、直接、医師による医療相談を実施しています。また、専門医療機関の紹介もいたします。一人で弱まらずには非ご相談ください。

※この検査後では、実際にHIVに感染していないのにHIV抗体が陽性になることがあり、その確率はおよそ1000人に1人といわれています。

事前相談窓口のご案内はこちら
デメカルサポートセンター
☎ 0120-100-302

商品説明

HIVセルフチェック

【検査項目】 HIV抗体

HIV: 後天性免疫不全症候群の原因ウイルスである

※ Human Immunodeficiency Virus

この検査はHIV抗体スクリーニング検査です。

後天性免疫不全症候群(AIDS)の原因になるHIV感染に関して調べるスクリーニング(ふるいわけ)検査です。HIV感染後に体内で作られるHIV抗体を測定します。



【結果報告書】

Y-003-0103 東京都中央区日本橋日本橋人形町1-10-8 アカセビル 5F (株)シーシー	DEMECAL HIV セルフ 検査キット						
健康 太郎 様	検査結果						
〒100-0001 東京都千代田区千代田 丸の内ビルディング 2F TEL: 03-6363-1000 FAX: 03-6363-1001	検査番号: 0120-100-312 URL: http://www.demecal.com 〒100-0001 東京都千代田区千代田 丸の内ビルディング 2F TEL: 03-6363-1000 FAX: 03-6363-1001						
あなたの検査結果							
検査日: 2017/11/03	●●●●● 検査結果について ●●●●● 今回のHIV抗体検査結果は「(-)」でした。 HIV感染は一旦感染がなされるまで2~3月かかるため、検査結果を正確に判定するには、今後の検査で2~3回連続して陰性結果が得られる必要があります。						
<table border="1"><thead><tr><th>検査項目</th><th>測定値</th><th>基準値</th></tr></thead><tbody><tr><td>HIV</td><td>(-)</td><td>(-)</td></tr></tbody></table>	検査項目	測定値	基準値	HIV	(-)	(-)	
検査項目	測定値	基準値					
HIV	(-)	(-)					
知っておくべきHIV感染について							
【HIVとは】 HIVは、免疫不全症候群の原因となるウイルスです。感染すると、免疫機能が低下し、さまざまな感染症やがんを発症する可能性があります。HIVは、性行為や血液の接触によって感染します。							
【検査】 HIV抗体検査は、血液や唾液中のHIV抗体を検出する方法です。検査結果は、検査日から数週間後にはっきりと判明します。							
【予防】 HIV感染を予防するためには、安全性行為（コンドームの使用）や、感染した血液と接触しないことが重要です。							
【治療】 HIV感染は、適切な治療によって、長期間安定した状態を維持することが可能です。							

商品説明

B型／C型肝炎＋HIVセルフチェック

【検査項目】

HBs抗原 (B型肝炎ウイルス抗原)

HCV抗体 (C型肝炎ウイルス抗体)

HIV抗体

B型、C型肝炎はウイルス性肝疾患で、輸血、注射針の使いまわし、針刺し事故などが原因といわれています。

B型、C型肝炎ウイルス、HIVは主に血液や体液を介して感染します。

また、症状が出るまでに時間を要する場合もございますので、

特に輸血や手術の経験がある方は、一度は検査してみることをお勧めします。



【結果報告書】

DEMECAL
B型／C型肝炎＋HIV
検査結果

健康 タロウ 様

検査項目	測定値	基準値
HBs抗原	(-)	(-)
HCV抗体	(-)	(-)
HIV抗体	(-)	(-)

採血日: 2016/12/13

●●●● 検査結果について ●●●●
※HIV抗体陽性判定は12ヶ月以内、
HIV陽性判定は検査後4週間以内です。
※HIV抗体陽性判定は12ヶ月以内、
HIV陽性判定は検査後4週間以内です。
※HIV抗体陽性判定は12ヶ月以内、
HIV陽性判定は検査後4週間以内です。

B型／C型肝炎セルフチェック

【検査項目】

- HBs抗原 (B型肝炎ウイルス抗原)
- HCV抗体 (C型肝炎ウイルス抗体)

B型、C型肝炎はウイルス性肝疾患で、輸血、注射針の使いまわし、針刺し事故などが原因といわれています。

B型、C型肝炎ウイルスは主に血液や体液を介して感染します。また、症状が出るまでに時間を要する場合がございますので、特に輸血や手術の経験がある方は、一度は検査してみることをお勧めします。



【結果報告書】

〒100-0013 東京都中央区日本橋人形町2-20-6
アラセどもや 薬房-ジヤ-

健康 ジロウ 様

性別: 男性 | 生年月日: 2016/12/13 | 年齢: 27歳

住所: 〒100-0013 東京都中央区日本橋人形町2-20-6
TEL: 03-5561-1111 | FAX: 03-5561-1112

DEMECAL

B型/C型肝炎

検査結果

あなたの検査結果

検査項目	測定値	基準値
HBs抗原	(-)	(-)
HCV抗体	(-)	(-)

●●●●● 検査結果について ●●●●●

今回の検査結果は「陰性」でした。現状では、B型肝炎ウイルスの感染が認められません。

今回のHCV抗体検査は「陰性」でした。現状では、C型肝炎ウイルスの感染が認められません。検査後、HCV抗体が検出されるまで定期的に検査を受けることをお勧めします。

知っておこうB型肝炎感染、C型肝炎について

【B型肝炎検査「陰性」について】
検査結果で、今回の検査結果が「陰性」です。B型肝炎ウイルスの感染が認められません。B型肝炎は感染してから検査結果が出るまでに時間がかかります。検査結果が「陰性」でも、B型肝炎ウイルスの感染が認められないとは限りません。検査結果が「陰性」でも、B型肝炎ウイルスの感染が認められないとは限りません。

【C型肝炎検査「陰性」について】
検査結果で、今回の検査結果が「陰性」です。C型肝炎ウイルスの感染が認められません。検査結果が「陰性」でも、C型肝炎ウイルスの感染が認められないとは限りません。検査結果が「陰性」でも、C型肝炎ウイルスの感染が認められないとは限りません。

【HIV抗体】

HIVに感染すると体内にHIVに対する抗体が産生されるため、血液中のHIVに対する抗体があるかどうかを調べる検査です。

HIV抗体の異常値では、エイズ(後天性免疫不全症候群)が疑われる可能性があります。

【HBs抗原】

HBs抗原とは、B型肝炎ウイルスの外殻を構成するたんぱく質の1つで、B型肝炎の感染の有無を判定する際に調べられます。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

肝臓は予備能力が高く、慢性肝炎や肝硬変になっても自覚症状が出ないことが多いことから、「沈黙の臓器」と呼ばれています。

陽性の場合にはB型肝炎(急性・慢性)肝硬変、肝がんがあります。

【HCV抗体】

HCVとは、肝炎ウイルスの一つであるC型肝炎ウイルスのことです。ウイルスに感染すると、HCV抗体ができます。測定することでC型肝炎の感染有無を調べることができます。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

肝臓は予備能力が高く、慢性肝炎や肝硬変になっても自覚症状が出ないことが多いことから、「沈黙の臓器」と呼ばれています。

陽性の場合には疑われる疾患はC型肝炎(急性・慢性)肝硬変、肝がんがあります。